

第 12 節 患者食宅配

1. 事業の概要

患者食（治療食）宅配事業は、調理済み食品あるいは食材を一般家庭へ配達するサービスである。調理済み食品については、厚生労働省許可の「特別用途食品」の「病者用食品」である「糖尿病調整用組合わせ食品」があり、2002 年 9 月末現在、10 社（タイハイ、ニチレイ、キューピー、加ト吉など）約 200 メニューに許可マークが与えられている。

また、このほか、厚生労働省の「糖尿病患者用宅配食品栄養指針」があり、これに基づいた献立用食材が提供されている。

2. 参入企業

前述のように厚生労働省許可の「糖尿病調整用組合わせ食品」については現在 10 社が認可されているが、多くは食品メーカーであり、宅配を手がけている大手としてはタイハイがあげられる。ほか、ヨシケイ、関東中心に手がけているムサシノフーズ、フランチャイズ展開しているエックスヴィンなどがあげられる。

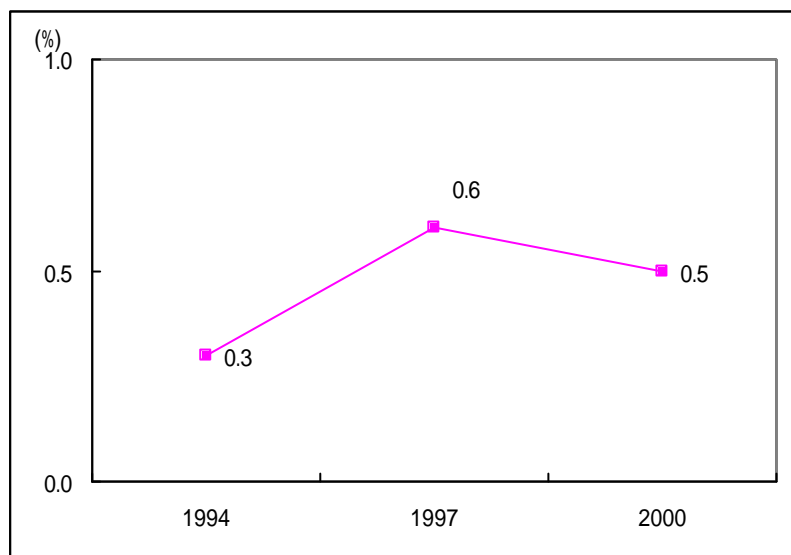
患者食宅配を手がけている会社は全国展開しているところで 15～20 社程度、このほか、地域限定で展開しているところも含めると 30～40 社、また、病院や特別養護老人ホームで独自に宅配を手がけているところもある。

なお、参考までに、患者食には限定していないが、高齢者の配食サービスを手がけている事業者で、業界団体の「全国在宅配食サービス事業協議会」に参加している企業は 2002 年 11 月現在で 53 社である。

3. 外部委託の状況

顧客は一般家庭であり、利用者が自ら注文することがほとんどである。また、自治体からの委託を受ける場合もあるほか、病院から患者に紹介してもらうこともある。したがって、他の医療関連サービスのように、医療機関が委託するというわけではないが、参考までに医療機関で外部に委託している割合の推移を掲げる。

図表 1 患者食宅配の外部委託率の推移



(出所) 医療関連サービス振興会「医療関連サービス実態調査」

4. 価格の決まり方・契約方式

患者食宅配の料金は各社が独自に設定している。料金表を数例以下に掲げる。

注文としては夕食1食のケースが多く、単価は1人当たり700円～2000円くらいである。

図表 2 タイハイの宅配治療食の価格

区分	商品名	価格(税別)
冷凍弁当タイプ治療食	糖尿病食 ヘルシー御膳	夕食 740 円 朝食 690 円 昼食 830 円 1日セット 2,190 円
	低たんぱく食 スマイル御膳	夕食 950 円 昼食 1,100 円 「低たんぱくご飯」5食 1,000 円
食材宅配	糖尿病性腎症向け CCS タイプ	3食 2,300 円前後 2食 1,600 円前後
	糖尿病・高血圧症向け CCS メニュー	3食 1,900 円前後 2食 1,250 円前後

(出所) タイハイ株式会社の各種メニューブックより。

図表 3 ゼモグループの宅配治療食の価格

メニュー	kcal	朝 (円)	昼又は夕 (円)	セット料金(一日当たり;円)		
				朝夕	昼夕	3食
D,高血圧食	1,200~1,400	650	1,290	1,740	2,060	2,450
	1,600~1,800	650	1,340	1,780	2,140	2,510
	2,000~2,200	700	1,390	1,880	2,220	2,640
E,糖尿病食	1,200~1,400	650	1,290	1,740	2,060	2,450
	1,600~1,800	650	1,340	1,780	2,140	2,510
F,膵臓食・腎臓食	1,600~1,800	650	1,340	1,780	2,140	2,510
G,肝臓食	1,800~2,000	700	1,390	1,880	2,220	2,640

(注) 白米は別料金。消費税別。
(出所) ゼモグループ ホームページより。

図表 4 日本健医食産業の宅配治療食の価格

透析食	1,050 円	腎臓食	1,050 円
糖尿病食	1,050 円	高血圧食	1,050 円
		肝臓食	850 円

(注) 上記価格はおかずのみ、配達料(福岡市内及びその近郊) 税込みの価格。
(出所) 日本健医食産業ホームページより。

5. 環境変化による影響

高齢化の進展から、慢性疾患・成人病が増え、医者も食事療法が大事という考え方がなり予防重視の中、治療食の需要は高まっている。また独居高齢者の増加から一人で調理をする手間をいとう人が増え、ニーズを増大させている。

さらに、介護保険によってニーズが高まったとともに、高齢者関連事業は民間事業者もやっているんだという認識が世間にもたれるようになった。

6. 市場規模及び今後の展望

患者食宅配の市場規模については、利用者数などの具体的統計がないため、その市場規模を推計することは難しい。

なお、参考までに在宅配食を行っている事業者団体である全国在宅配食サービス事業協議会の実施した調査によると、調査回答企業 38 社の売上総額は 7,958 百万円となっている。

図表 5 配食サービスの売上高の推移

	1999年	2000年	2001年
回答企業数	32社	34社	38社
売上高	4,911百万円	6,544百万円	7,958百万円

(注) 回答があった38社分の売上のみ。

(出所) 全国在宅配食サービス事業協議会ホームページ

高齢化の進展による慢性疾患の増加、病院から在宅へ移行の動き、独居高齢者の増加に伴う個食化と調理済み食品への需要の拡大などから、患者食宅配は今後さらに拡大することが予想される。